



全港湾夏季一時金闘争、有額回答出始める

速報分会回答額平均 506、736円

闘争分会回答額平均 478、824円

19春闘の影響により夏季一時金の回答も例年より遅れ気味となっていたが、ようやく夏季一時金の回答も出始めた。東北地方、関東地方、東海地方、関西地方、九州地方で有額回答が進んでいる。

7月1日現在、速報分会では、140速報分会中59分会（42％）に有額回答が示され、速報分会の回答額平均は506、736円、妥結した分会は13分会で妥結額平均は536、247円となっている。

〔参考：速報分会の2018年妥結額実績は494、735円〕

2017年妥結額実績は482、245円〕

2016年妥結額実績は482、349円〕

全闘争分会では、318分会中145分会（46％）に有額回答が示され、闘争分会の回答額平均は478、824円（1.64ヶ月）となっている。回答を受けた分会のうち36分会（25％）が妥結しており、妥結額平均は501、660円となっている。

〔参考：闘争分会の2018年の妥結実績は、468、551円〕

2017年妥結額実績は、459、116円〕

2016年妥結額実績は、458、632円〕

他団体の回答状況

連合の6月8日付け発表では加重平均で700、916円（前年実績マイナス39、184円）となっている。

国民春闘共闘の6月18日付け発表では加重平均で714、388円（前年同期比プラス54、943円）となっている。

日本経団連の6月11日付け発表では加重平均で971、777円（前年実績マイナス25、138円）となっている。

港湾関係の回答状況

全倉運の6月10日付け発表では加重平均で696、992円（前年実績プラス11、413円）となっている。